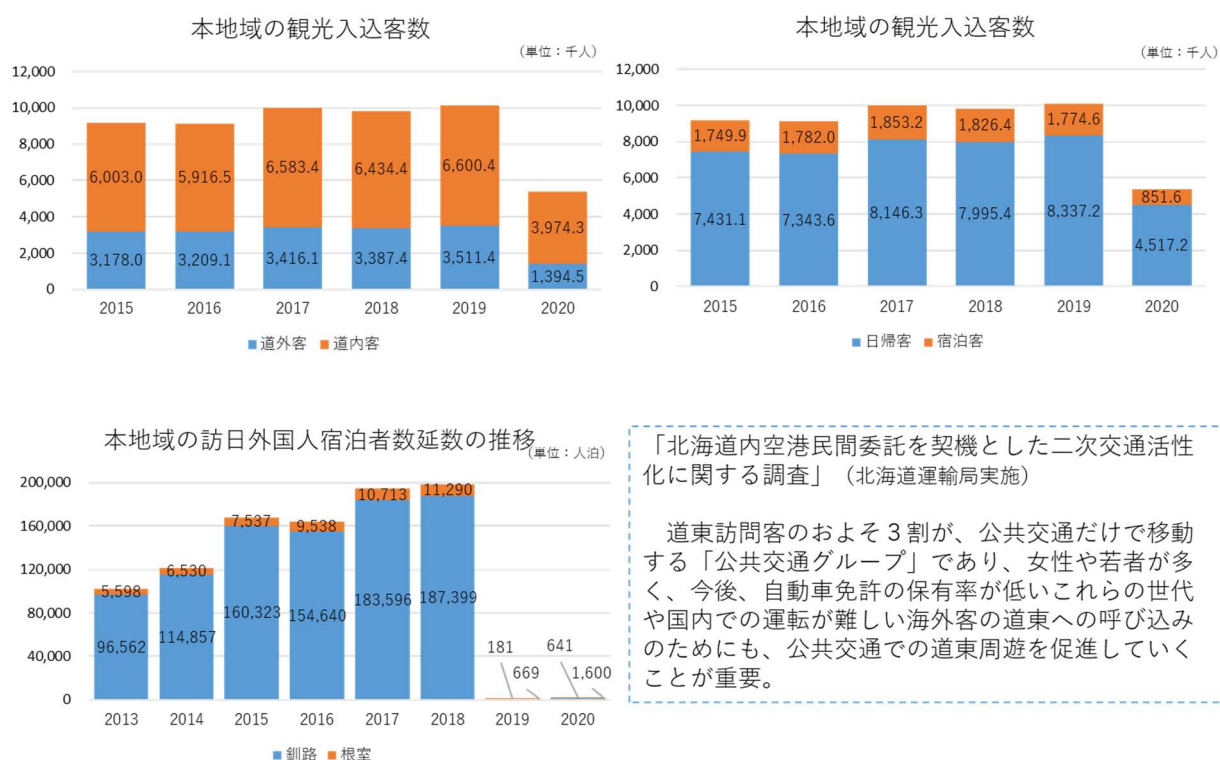


## (9) 観光客の状況

本地域における観光入込客数は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響による旅行の自粛等により大幅に減少しており、これに伴い航空機、鉄道、バスの減便やクルーズ船の寄港中止など、交通機関への影響も大きくなっている。また、年々増加傾向にあった訪日外国人観光客はコロナ拡大以降ほぼなくなった。

令和2年度（2020年度）に北海道運輸局が行った調査によると、道外・インバウンドの道東旅行者の約3割（女性や若者が多い）が公共交通のみで移動しているとの結果であり、公共交通での道東周遊を促進することが重要であるとしている。



「北海道内空港民間委託を契機とした二次交通活性化に関する調査」（北海道運輸局実施）

道東訪問客のおよそ3割が、公共交通だけで移動する「公共交通グループ」であり、女性や若者が多く、今後、自動車免許の保有率が低いこれらの世代や国内での運転が難しい海外客の道東への呼び込みのためにも、公共交通での道東周遊を促進していくことが重要。

出典：観光入込客数・訪日外国人宿泊客数（北海道釧路総合振興局・根室振興局）

(<https://www.kushiro.pref.hokkaido.lg.jp/ss/srk/kanko/irikomi.html>)

(<https://www.nemuro.pref.hokkaido.lg.jp/ss/srk/koukei.html>)

北海道内空港民間委託を契機とした二次交通活性化に関する調査等業務（国土交通省北海道運輸局）

([https://www.tb.mlit.go.jp/hokkaido/bunyabetsu/tiikikoukyoukoutsuu/41tyousakentoukekka/chousa23\\_.html](https://www.tb.mlit.go.jp/hokkaido/bunyabetsu/tiikikoukyoukoutsuu/41tyousakentoukekka/chousa23_.html)) を加工して作成

図 3-9 本地域の観光入込客数等

### 3-3 地域の公共交通の現状

#### (1) 本地域の公共交通

本地域では、鉄道、航空機、都市間バス、路線バスが運行されているほか、各市町村を営業区域としたタクシー・ハイヤーが運行されている。

表3-10 本地域の公共交通の現状

鉄 道	事業者名	路線等	平日1日あたりの 運行本数（上下計）	備考
	J R 北海道	釧網線	14本	釧路駅発着本数
	J R 北海道	花咲線	16本（釧路駅発着） 12本（根室駅発着）	
	J R 北海道	石勝線・根室線	上17本 下18本	釧路駅発着本数

航 空	空港	路線	航空会社	運行数（1日）
	釧路空港	釧路～新千歳	全日本空輸【ANA】	3往復
		釧路～丘珠	北海道エアシステム【HAC】	4往復
		釧路～羽田	日本航空【JAL】	3往復
			全日本空輸【ANA】	1往復
			AIRDO【ADO】	2往復
	釧路～関西	Peach Aviation【Peach】	1往復	
中標津空港	中標津～新千歳	全日本空輸【ANA】	3往復	
	中標津～羽田	全日本空輸【ANA】	1往復	

都 市 間 バ ス	事業者名	路線等	平日1日あたりの 運行本数（上下計）	備考
	くしろバス・阿寒バス・中央バス共同運行	スターライト釧路号 （釧路・札幌）	8本	
	北海道バス	釧路特急ニュースター号 （釧路・札幌）	8本	
	阿寒バス・道北バス共同運行	特急サンライズ旭川・釧路号 （釧路・旭川）	4本	（当面の間） 平日・土曜 2本 日曜・祝日 4本
	阿寒バス・北見バス共同運行	特急釧北号 （釧路・北見）	4本	
	根室交通	オーロラ号 （根室・札幌）	2本（直行） 2本（中標津経由）	

路 線 バ ス	区分	系統数	運行事業者	備考
	複数市町村にまたがる補助系統（広域交通）	17	くしろバス 阿寒バス 根室交通	地域間幹線系統： 16 北海道単独補助系統： 1

タ ク シー ・ ハ イ ヤ ー	営業所在地	法人数	一般車両数	営業所在地	法人数	一般車両数
	釧路市	7	207	根室市	3	40
	釧路町	3	172	別海町	1	3
	厚岸町	1	4	中標津町	2	21
	浜中町	1	3	標津町	1	3
	標茶町	1	4	羅臼町	1	1
	弟子屈町	2	16	法人計	25	479
	鶴居村	1	1	個人	45	45
	白糠町	1	4	合計	70	524

出典：交通事業者聞き取り（令和5年（2023年）2月末現在）



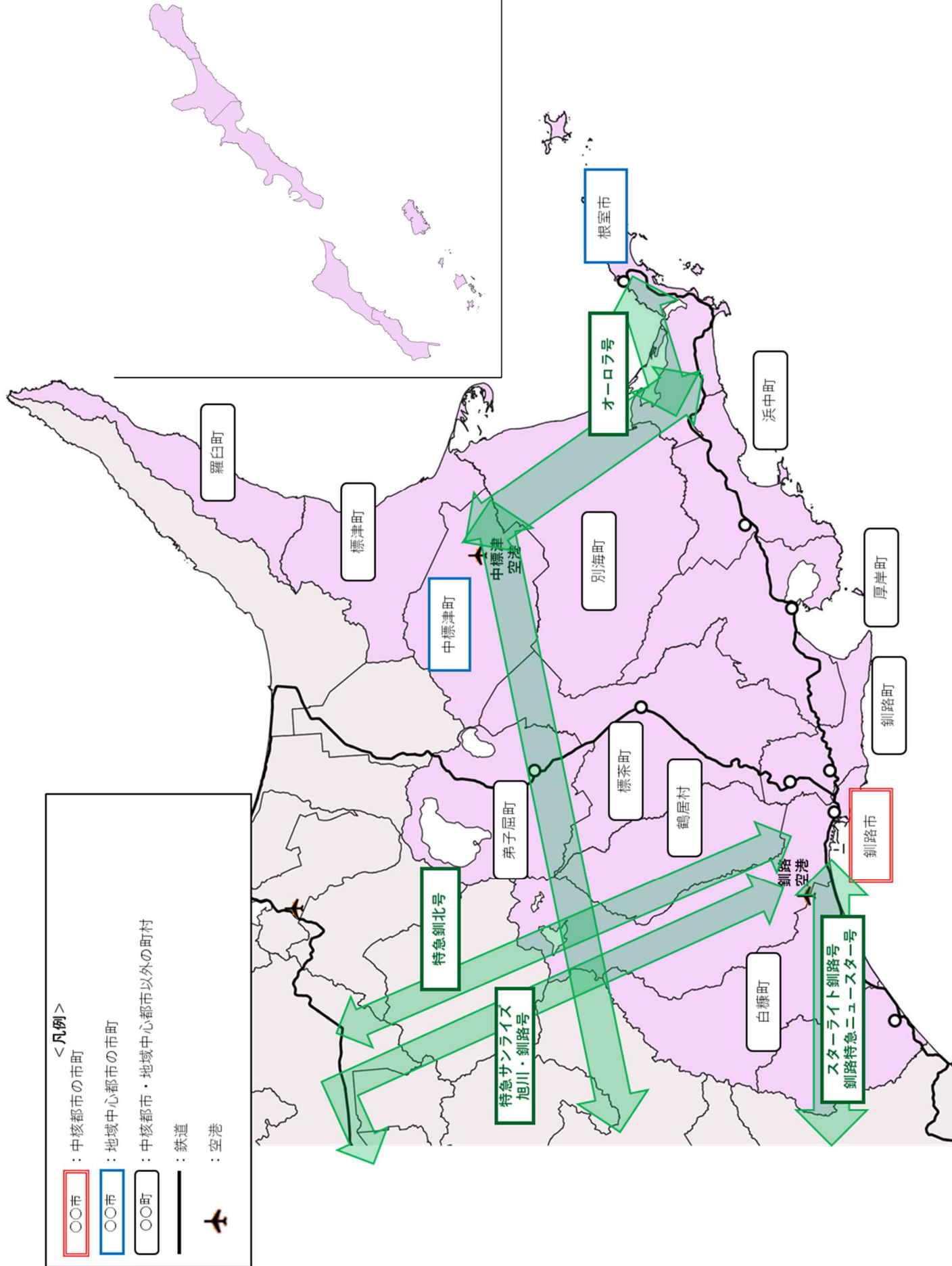


図 3-11 本地域の都市間バス

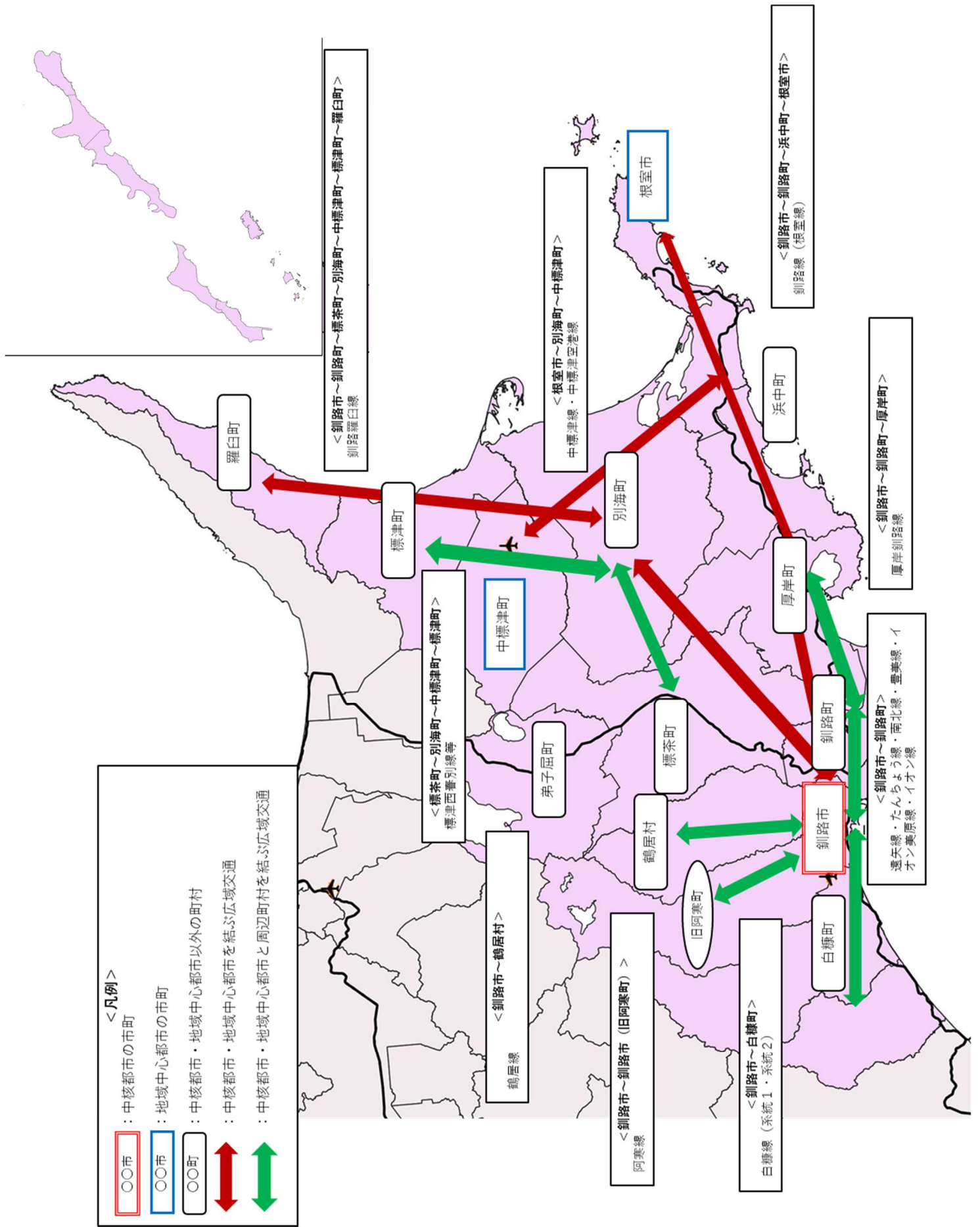


図3-12 本地域の路線バス (広域交通)



## (2) 鉄道の現状

本地域における鉄道は、根室線（音別・釧路間）、花咲線（釧路・根室間）及び釧網線（東釧路・川湯温泉間）がJR北海道により運行されている。

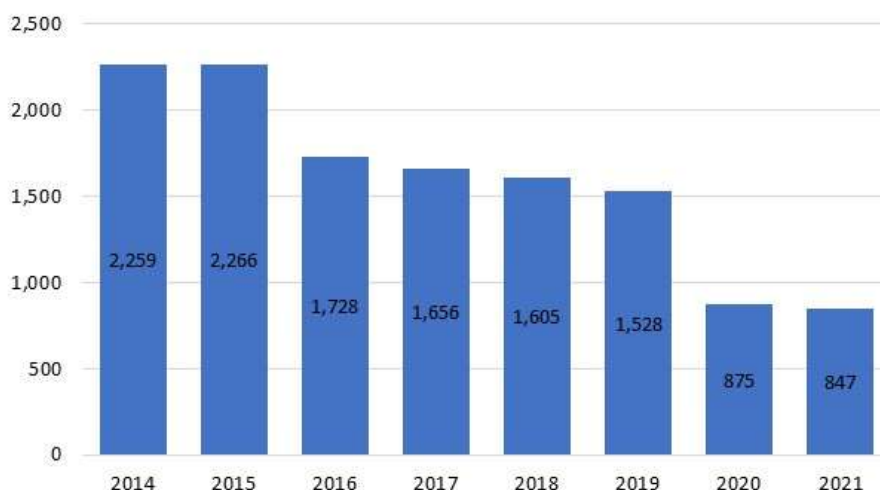
根室線は釧路市と札幌市を結ぶ幹線交通として利用され、また、釧路市と白糠町を結び通学・通勤・通院などに利用されている。花咲線は釧路市、釧路町、厚岸町、浜中町及び根室市、釧網線は釧路市、釧路町、標茶町及び弟子屈町を結び、通学・通勤・通院や観光などに利用されている。

根室線（帯広・釧路間）、花咲線及び釧網線の利用者は減少傾向にあり、花咲線及び釧網線は輸送密度が200人以上2,000人未満の線区に該当することから、JR北海道と地域の関係者が一体となって取り組む事業計画（アクションプラン）を策定し、「花咲線（釧路～根室間）第2期事業計画（アクションプラン）」及び「釧網線（釧路～網走間）第2期事業計画（アクションプラン）」に基づき、地域の関係者が一体となり利用促進に取り組んでいる。

JR北海道の駅間通過人員のデータ（1日あたり平均（令和2年度（2020年度）））によると、花咲線では釧路・厚岸間、釧網線では東釧路・標茶間の通過人員が多く、利用券種は定期利用が花咲線で53%、釧網線で55%を占めている。

また、JR北海道の定期券月平均販売枚数のデータ（令和2年度（2020年度））によると、花咲線では通学定期が93%、釧網線では通学定期が96%を占めている。通学定期券の発売枚数の多い区間は、花咲線では、釧路・厚岸間、東釧路・厚岸間、落石・根室間、釧網線では、釧路・標茶間、東釧路・標茶間、釧路・摩周間である。

（単位：人/キロ/日）



出典：線區別収支（JR北海道）

(<https://www.jrhokkaido.co.jp/corporate/mi/index.html#3>) を加工して作成

図3-13 根室線（帯広・釧路間）の輸送密度

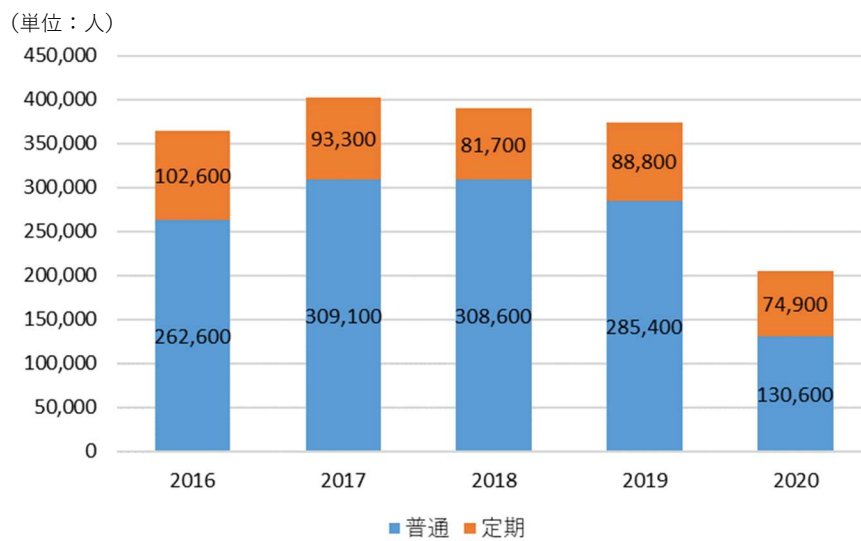


図 3-14 釧路駅の輸送状況（乗車人員）

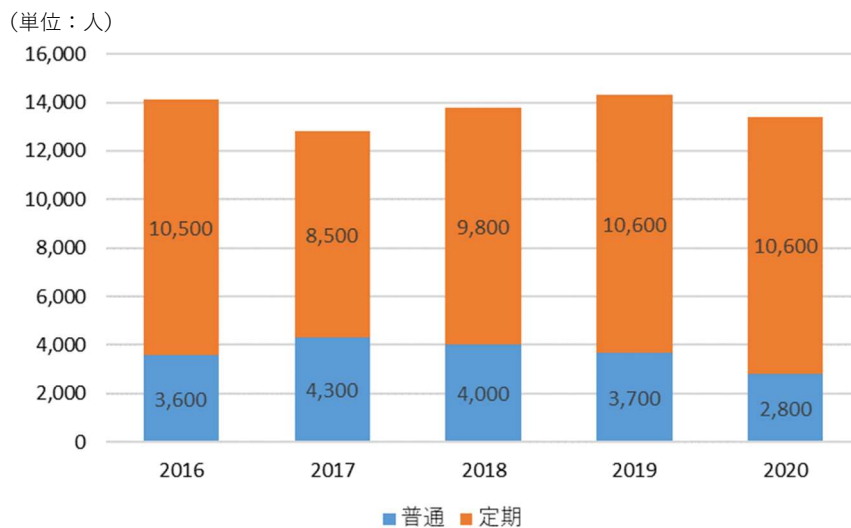
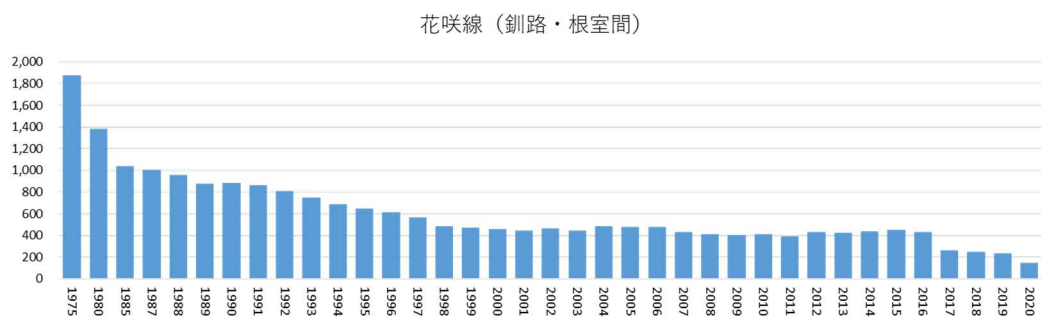
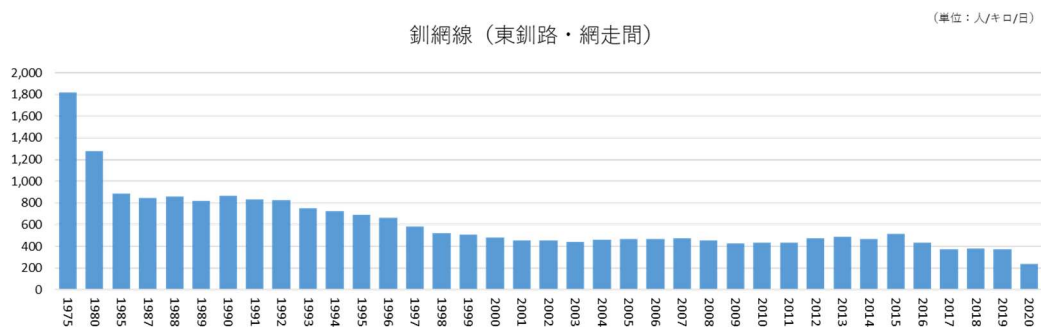


図 3-15 音別駅の輸送状況（乗車人員）

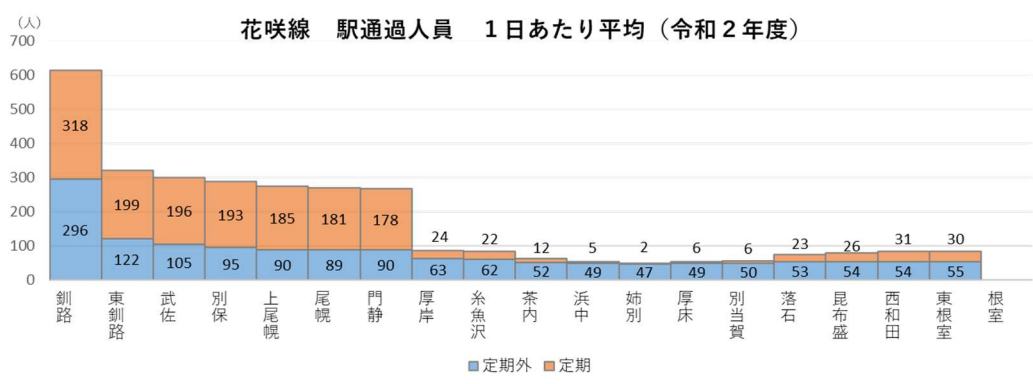
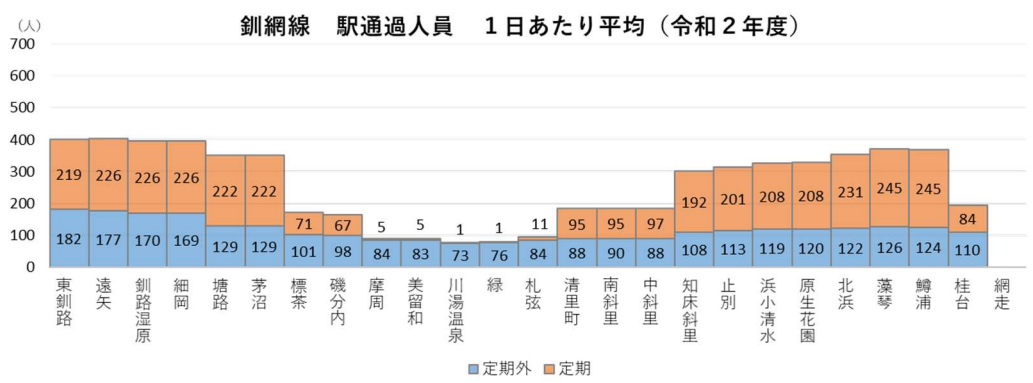
出典：釧路市統計書

(<https://www.city.kushiro.lg.jp/shisei/toukei/1007138/1007140.html>) を加工して作成



出典：輸送密度の推移（JR北海道）  
<https://www.jrhokkaido.co.jp/corporate/region/index.html> を加工して作成

図 3-16 釧網線・花咲線の輸送密度の推移



出典：駅間通過人員（JR北海道）  
<https://www.jrhokkaido.co.jp/corporate/region/index.html> を加工して作成

図 3-17 釧網線・花咲線の駅通過人員



表 3-11 釧網線・花咲線の定期券月販売枚数（令和 2 年度（2020 年度））

区分		釧網線（単位：枚）	花咲線（単位：枚）
線区外	通学	4.8	9.7
	通勤	0	0
線区内	通学	251.4	108.2
	通勤	11.4	8.2
計	通学	256.2	117.9
	通勤	11.4	8.2

※ 1ヶ月定期は1枚、3ヶ月定期は3枚、6ヶ月定期は6枚として集計

出典：定期券月平均発売枚数（JR 北海道）

（<https://www.jrhokkaido.co.jp/corporate/region/index.html>）を加工して作成

表 3-12 釧網線・花咲線の通学定期券の発売が多い区間（令和 2 年度（2020 年度））

釧網線		花咲線	
区間	枚数（枚）	区間	枚数（枚）
釧路・標茶	35.3	釧路・厚岸	65.9
東釧路・標茶	34.3	東釧路・厚岸	9.4
釧路・摩周	19.1	落石・根室	8.7
東釧路・摩周	7.8	釧路・上尾幌	4.3
遠矢・標茶	6.8	釧路・茶内	2.8
釧路・塘路	2.8	東釧路・茶内	2.8
		厚床・根室	2.8
		西和田・根室	2.1
		釧路・浜中	2.0

※ 1ヶ月定期は1枚、3ヶ月定期は3枚、6ヶ月定期は6枚として集計

※ 2枚以上の区間を抜粋

出典：定期券月平均発売枚数（JR 北海道）

（<https://www.jrhokkaido.co.jp/corporate/region/index.html>）を加工して作成